

科目名	患者参加論		D1-204	担当教員名	飛田 伊都子
単位数	1単位		必修	配当年次	1年次・第1 Semester (後半)
曜日・時限	土曜日・2限目		教室	視聴覚大講義室	
授業概要	医療の安全を構築する際に患者の参加は不可欠である。本講義は、医療への患者参加について3つに焦点をあてる。それらは、①「患者が医療に参加する意味」、②「患者が医療に参加する際に患者に求められる行動」、③「患者が医療に参加する際に医療者に求められる行動」である。患者参加の歴史の変遷を紹介しながら、これから求められる広義の患者参加についてディスカッションを行う。				
到達目標	1) 患者参加型医療の意義について理解できる。 2) 患者による医療への自律的参加行動と医療者による参加の具体的支援行動について理解できる。 3) 学生自身がおかれた立場で出来る支援について考えることができる。				
回	日程	見出し	内 容		実践的な授業方法
1	6/11	患者参加の歴史の変遷	医療における患者参加の意義とその歴史の変遷を紹介する。		
2	6/18	患者参加の概念構成とその実践例	医療における患者参加の概念構成について講義し、それを実践している具体例を紹介する。		
3	6/25	診療ガイドライン作成における患者参加	診療ガイドライン作成プロセスに患者が参加することの意義と実践例について講義し、その内容について議論を交わす。(特別講師:中山健夫) [ディスカッション]		○
4	7/2	精神科領域における患者参加型医療の実践	精神科医療において患者参加型医療を実践している事例を紹介し、その内容について議論する。(特別講師:川野豊) [ディスカッション][実務家による授業]		○
5	7/9	患者参加と医療安全	患者参加と医療安全の関係について講義し、自身の立場でできる医療への参加方法について議論する。[ディスカッション]		○
6	7/16	患者参加型医療の具現化(1)	患者参加型医療を実践する「病院」を仮想し、理念ならびに具体的方策を検討する。[グループディスカッション]		○
7	7/23	患者参加型医療の具現化(2)	患者参加型医療を実践する「病院」を具体的に立案し、理念と実践の関係性について議論し、まとめを行う。[グループディスカッション]		○
8	7/30	患者参加型医療の具現化(3)	患者参加型医療を実践する「病院」について発表し、総合討論する。 [グループディスカッション][プレゼンテーション]		○
キーワード		患者参加、住民参加、診療ガイドライン	履修条件	なし	
教材等	教科書(要事前購入)	教科書は特に指定しない。講義で使用する資料は適宜配付する。			
	参考書(任意購入)	講義の中で適宜紹介する。			
成績評価方法(%) [評価のポイント]		①授業・グループ演習への参加・貢献度(30%)、②レポート(70%) [①授業への積極性、②講義内容を十分理解し、患者参加の必要性を理解できているかを評価します。]			
授業時間外に必要な学修		医療の質的向上および安全の担保のために、患者の参加がなぜ必要なのかについて、自身の意見を整理しておくこと。			
学生へのメッセージ		医療における患者参加の意味とその具現化について一緒に考えましょう。			

※ 授業の日程については変更する場合があります。